

選考会委員（五十音順、敬称略、令和7年5月20日現在）

北澤 佑紀（作家）

澤田 文男（高松大学教授）

高城 修三（作家（第78回芥川賞受賞、高松市出身））

松井 等（菊池寛顕彰会会長、元高松市教育委員会教育長）

山下 洋平（株式会社瀬戸内海放送  
報道クリエイティブユニット局長職）

和家 剛（西日本放送株式会社報道制作局長）

菊池寛記念館はサンクリスタル高松リニューアルに伴い、  
令和7年5月から令和9年秋ごろまで休館しています。  
事務所（応募先）については、下記に移転しておりますので、  
御注意ください。また、香川菊池寛賞及び同奨励賞受賞作  
品の全文などを掲載した年刊誌『文藝もず』は、休館中、  
下記の菊池寛記念館仮事務所にて販売しています。

応募・お問い合わせ（平日 9:00 ～ 16:00）

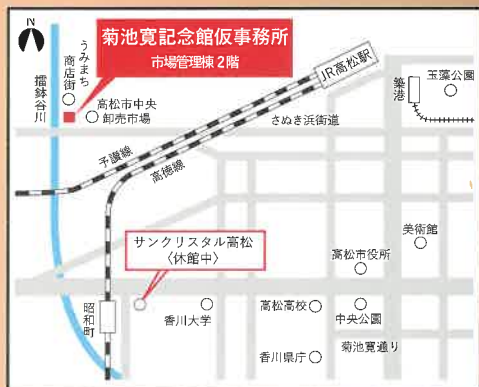
〒760-0012

高松市瀬戸内町30番5号

市場管理棟2階 菊池寛記念館仮事務所内

菊池寛顕彰事業実行委員会「香川菊池寛賞係」

電話 087-861-4502



原稿用紙に向かふことは  
創作の単なる  
仕上げに過ぎない

菊池寛は郷土が生んだ偉大な文化人で、現在の文壇の  
隆盛の礎を築きました。

寛は、1888年（明治21年）現高松市に生まれ、「父  
帰る」「真珠夫人」など多くの作品を残しています。また  
ヒューマニズム、リアリズムの作家として多くの読  
者を持ち、現在活躍の作家たちにも多大な影響を与え  
ています。

一方作家活動以外でも文藝春秋社の設立、「芥川・直木  
賞」「菊池寛賞」の創設、著作権の擁護、作家の地位向  
上など数々の功績を残しました。

#### 菊池寛略歴

- 明治21年 高松に生まれる
- 明治41年 高松中学校（現高松高校）を卒業
- 大正5年 京都帝国大学（現京都大学）を卒業
- 大正6年 戯曲「父帰る」を発表
- 大正8年 「恩讐の彼方に」「藤十郎の恋」を発表
- 大正12年 文藝春秋社を創設  
雑誌『文藝春秋』を創刊
- 昭和10年 芥川賞・直木賞を設定

## 第六十一回 香川菊池寛賞 作品募集要項

新古今物語（月刊）通し  
伊勢物語  
菊池寛  
吉村忠夫  
今昔、近きや  
一、御子の袴の御着  
行はせられることになり、その御料に  
新しい屏風を調へられ、その御料に



### 菊池寛記念館 Kikuchi Kan Memorial Museum

主催／菊池寛顕彰事業実行委員会  
共催／高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会  
後援／文藝春秋・RNC 西日本放送・NHK 高松放送局・  
KSB 瀬戸内海放送・四国新聞社

## 第61回香川菊池寛賞作品募集要項

郷土が生んだ文豪菊池寛を顕彰する事業として、また、郷土文化・文学の向上を図るため、文学作品を募集し、香川菊池寛賞及び同奨励賞各一篇を選考し、賞を贈呈するものです。第二・第三の菊池寛の誕生と郷土作家の奮起による清新な作品の登場を念願し、多くの皆様からの応募をお待ちしています。

### 1 応募資格

応募者は、香川県在住又は通勤、通学している方、若しくは香川県ゆかりの方（在住又は通勤、通学したことがある方）に限ります（これまでに香川菊池寛賞を受賞された方は、応募資格はありません。なお、同奨励賞受賞の方は応募できます）。

### 2 応募作品の範囲（ジャンル）

小説、随筆、戯曲（脚本）を対象とします。

### 3 応募規定

・応募作品は、一人一篇とし、日本語で書かれたオリジナルの未発表作品に限ります（他への二重投稿は御遠慮ください）。

・応募作品の原稿枚数は、A4判横方向縦書きで、次のとおりとします。

◇ 手書き原稿の場合は、400字詰縦書き原稿用紙で30枚以上100枚以内。

◇ パソコン原稿の場合は、ページ設定を文字数20字×40行・縦書きに設定し、15枚以上50枚以内。菊池寛記念館のホームページより設定済のWordファイルをダウンロードできます。

・応募作品には、400字程度のあらすじをつけてください（あらすじは、原稿枚数には含みません）。

・応募作品は、原稿順に並べ、1枚毎にページを付し、綴じないでお送りください。本文に作品名・氏名は記入しないでください。

・応募票に必要事項を記入の上、作品・あらすじと一緒に送ってください。

※応募規定を満たしていない作品は、選考の対象外となります。

### 4 賞

（1）香川菊池寛賞 一篇 賞状及び副賞30万円  
並びに記念品

（2）同奨励賞 一篇 賞状及び副賞10万円

### 5 応募期間

令和7年7月1日～10月10日（当日消印有効）

### 6 応募方法

菊池寛記念館仮事務所へ郵送してください（香川菊池寛賞作品在中と朱書きしてください）。

※昨年までと応募先が異なりますので、御注意ください。

### 7 選考結果

一次選考結果は令和7年12月下旬に、香川菊池寛賞及び同奨励賞は令和8年1月下旬に、入選者に通知するとともに、高松市（菊池寛記念館）ホームページ等で発表します。

### 8 贈呈式

令和8年2月下旬を予定しています。

### 9 その他

・応募作品は返却しません。応募後の変更、訂正、差し替えは不可とします。

・作品の選考についてのお問い合わせには応じられません。

・応募作品の中に、作家等の著作物を利用・引用する場合には、著作権に御配慮ください（作者の死後70年経過後で作者の著作権は消滅します。著作権が発生する著作物を利用する場合、著作権法により応募者御自身で、著作権者の許諾等を得る必要があります）。

・応募された方の個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。

・受賞作品は、高松市（菊池寛記念館）が発行する『文藝もず』第27号に掲載します。

・受賞作品の複製権（出版権を含む）、公衆送信権等は、選考結果発表の日から『文藝もず』第27号発行後、1年間を経過する日まで、主催者及び高松市に帰属します。

・香川菊池寛賞奨励賞については、該当するものがない場合、授与しません。また、過去2回、同奨励賞を受賞した者は、同賞の選考からは除外します。

切り取り線

## 第61回香川菊池寛賞 応募票

|                                |                    |          |          |
|--------------------------------|--------------------|----------|----------|
| ふりがな                           |                    |          |          |
| 作品名                            |                    |          |          |
| ジャンル<br>(○で囲む)                 | 小説<br>随筆<br>戯曲（脚本） | 原稿<br>枚数 | × 字<br>枚 |
| ふりがな<br>氏名                     |                    |          |          |
| 住所                             | 〒                  |          |          |
| 香川県との<br>関わり<br>(県外在住<br>の方のみ) | 居住歴、通学先、勤務先等       |          |          |
| 電話番号                           | (自宅)<br>— —        |          |          |
|                                | (携帯)<br>— —        |          |          |
| 年齢                             |                    |          |          |
| ふりがな<br>筆名<br>(使用する<br>場合のみ)   |                    |          |          |

令和7年 月 日 提出

注1 太枠の箇所は必ず御記入ください。

それ以外の箇所は自由記載です。

注2 個人情報は、香川菊池寛賞作品募集選奨事業に関してのみ使用し、他の目的で使用することはありません。